

第 18 回 自動車安全シンポジウムの開催について（案）

➤ 自動車安全シンポジウム開催概要

自動車安全シンポジウムは、国土交通省における自動車安全政策を発表するとともに、国民の意見を聞く貴重な機会と考えられる。2013 年から一般の参加者を対象とした企画と、自動車産業の関係者を対象とした企画を 1 年ごとに切り替える形式で開催するようになった。

第 18 回は、東京モーターショー開催期間に合わせて一般の参加者を対象とした企画で開催する予定であり、企画の主旨と一般の方の関心の高さが調和する企画内容・開催方法とする。

○今年度のテーマ

高齢運転者による交通事故防止対策について
～自動車の安全性向上に向けた取組み～

○開催主旨

- ・ 昨今、高齢運転者による交通事故が相次いで発生していることを受けて、国土交通省では、こうした事故を防止するため、先進安全技術の性能向上と普及促進に取り組んでいるところ。
- ・ このため、今次シンポジウムでは、高齢運転者による交通事故の防止に向けた国土交通省や自動車業界による取組みを一般参加者に説明するとともに、先進安全技術に対する一般参加者の理解を促進することを目的としたシンポジウムを開催することとする。
- ・ 第 1 部【講演】では、高齢運転者による交通事故防止対策に関する政府や自動車メーカーの取組みについて、基調講演を行う。
- ・ 第 2 部【パネルディスカッション】パネルディスカッションでは、高齢運転者による交通事故実態や先進安全技術の開発・実用化状況等を踏まえ、高齢運転者による交通事故の防止に向けた、今後の車両安全対策等の方向性について議論を行う。

- 開催時期： 平成 29 年 10 月 28 日（土）～11 月 5 日（日）
（東京モーターショー 一般公開期間中のいずれか 1 日）
- 開催場所： 東京ビッグサイト
- 参加者数： 200 名程度

➤ シンポジウムの構成案

【第1部】講演

- ① 高齢運転者による交通事故防止対策について
 - ・ 高齢運転者による交通事故実態等を踏まえた車両安全対策の動向について紹介
- ② 先進安全技術の開発・実用化状況について
 - ・ 高齢運転者による交通事故の防止に資する技術開発の動向について紹介

【第2部】パネルディスカッション

高齢運転者による交通事故の実態や発生メカニズム等について、様々な視点から議論・整理を行い、高齢運転者による交通事故の特徴について、一般参加者の理解を促進する。

また、最近の自動車安全技術の開発・実用化状況等も踏まえつつ、高齢運転者による交通事故を防止するため、行政、自動車業界、高齢運転者やその家族等がそれぞれ果たすべき役割等について議論を行う。

➤ 参考：過去5年のタイトル

- 第12回(2011)「ヒトとクルマの共存をめざして～先進技術を活用した安全対策～」
- 第13回(2013)「悲惨な交通事故をいかに防ぐのか～車両安全技術の普及に向けて～」
- 第14回(2013)「いのちを守るクルマの今～知っておきたい安全技術とその使い方～」
- 第15回(2014)「国際社会における自動車安全戦略と国際基準調和」
- 第16回(2015)「交通安全のための予防安全技術～これからの車両安全政策のなかで～」
- 第17回(2016)「交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について」

以上